

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高校	私立 慶風高等学校	田原 サヨ子
学校所在地		
〒640 - 1363 和歌山県海草郡紀美野町田6 4 番地 Tel 073 (498) 0100 fax 073 (474) 5156		
担当者名	担当教科	
裕 和也	数学科	
〔学校の概要〕 本校は、平成17年4月広域通信制課程普通科の高等学校として、海草郡紀美野町に開校しました。平成29年12月1日現在の生徒数は164名です。「愛情をもって根気よく」の指導理念のもとに、教員と生徒相互の温かい人間関係を通じ、生徒一人ひとりの能力・適性を考慮し、自分の希望の進路に向かって努力する生徒を育成しています。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年1・2・3年生 50名	5名 職員 3名	高野山（中央公民館・壇上伽藍～金剛峯寺）
実践研究テーマ		
世界遺産としての高野山を知り、その素晴らしさを体感する。		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目 「高野山への道」	高野山を体感しよう	
〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土学習 体験学習		
〔単元目標〕 (1) 高野山の歴史や高野山への道を調べ、先人の偉業を学ぶ。 (2) 世界遺産についての知識を深める。 (3) 県世界遺産マスターの説明を聞きながら、高野山の奥深さを体感する。（現地学習）		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 20時間 （「世界遺産について」映像・資料 1時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業（現地学習）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	授業 ・「和歌山県の歴史」を読み、高野山について調べる。 ・空海について調べる。	・高野山の歴史を調べると同時に、平安時代の宗教が21世紀まで続いて存続している理由を考えさせ、レポートにまとめさせる。	・高野山や空海について理解できたか。
2	授業 ・世界遺産として高野山と高野山町石道について調べる。 ・高野山参詣道について調べる。	・資料を配布する。 ・町石道と他の参詣道も調べ、レポートにまとめさせる。	・世界遺産としての高野山への視点をもつことができたか。
3	授業 ・高野西街道について調べる。	・資料を配布する。 ・レポートにまとめる。	・歴史遺産が身近にあることに気付いたか。
4	DVD鑑賞 ・NHK「空海 ～歴史ヒストリア」	・空海の間像を端的に理解できる。	・ワークシート
5	平成29年11月13日（月） 次世代育成事業 ・壇上伽藍～金剛峯寺までを、解説を聞きながら歩く。	・「世界遺産センター」の職員の方に講話をしていただく。 ・県世界遺産マスターの方に、詳しい説明をしていただきながら歩く。	・感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果 学習内容を書物や資料を通して知るだけでなく、実際に「歩く」という行為を通じて、その「場」に身をおくという経験をすることで知識を体得できた。</p> <p>課題 今後、このような知識と体験ができるような機会を、年間指導計画に入れていくことを考える必要がある。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
「壇上伽藍」から「金剛峯寺」までを歩く体験学習は、「歴史」と「宗教の荘厳さ」を感じさせることができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
世界遺産学習とは、人類の歴史を学ぶことに他ならないが、先人たちが築いた遺産を未来へ残すためには、自分たちがどのように何をすべきかという未来への視点をもつことができるようにしたい。			

様式 2

平成 29 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

平成 29 年 11 月 13 日 (月) 現地学習

生徒感想文 (抜粋)

- ・立派なお寺がたくさんあり、とても感動しました。世界遺産マスターの方から、昔の人たちがどのようにしてその寺を作り上げたのかの説明を聞き、とても興味を持ちました。私は、今まで歴史に興味を持たず、むしろ歴史は難しいものだと思い込み遠ざけていましたが、今回の学習で、歴史を身近に感じ、歴史は面白いと思いました。和歌山県出身者として和歌山の世界遺産を知っておくのは当然だと思いました。もっと高野山について調べて、多くの知識を身につけようと思いました。また、高野山を訪れたいと思います。
- ・金剛峯寺は、真言密教の修行道場として創建されたと教わりました。また、高野山で一番古い建物を見せてもらい、その建物の四隅の作り方がすべて異なる造りをしていることに興味をもちました。
- ・金剛峯寺が一番印象的でした。防火対策として、屋根の上に火消しの樽があり、雨水を溜めておいて火を消すことや柱に工夫して燃えにくくしていることなど、昔の人の知恵はすごく豊富だと思いました。
- ・壇上伽藍の中に、寺と神社のどちらも入っていることに驚きました。このことを世界遺産マスターの方から聞いて、「神仏習合」とはこのことかと思いました。
- ・世界遺産には、自然遺産、文化遺産、複合遺産という三種類があって、「紀伊山地の霊場と参詣道」は文化遺産だと教えていただきました。大きな杉や古い松がたくさんありとてもきれいな風景なので、私は自然遺産だと思っていたので、それを知ったときは、驚きました。しかし、歴史的に重要な価値をもつ建造物があるからだと聞いて納得しました。
- ・世界遺産は 1972 年のユネスコ総会が決めた条約で、文化遺産として登録されているものが一番多く、現在、日本の世界遺産は 20 もあり、「紀伊山地の霊場と参詣道」は 2004 年に登録され、日本で 12 番目だということを知りました。

